

記念総会の開催に際し



昭和37年法経学部法学科卒業
神奈川大学大阪府宮陵会 会長

根来 道徳

このたび本会が再建満30周年を迎え、その節目として記念総会を開催することになりました。

これも偏に会員の皆様が本会の運営並びに諸活動に対するご理解とご協力があればこそと心より感謝いたしております。記念総会に際し会報を発行するに当たり、本会の生立ちと小生が宮陵会活動に関わった所感を少し述べさせていただきます。

大阪府宮陵会の歴史は昭和27年の支部設立に遡ります。その設立に至る経緯は、昭和24年11月に文部省の認可を得て正式に社団法人宮陵会が発足したことに始まります。(それ以前は同窓会宮陵会としての単なる団体でした。)翌25年に全国の主要都市に支部結成依頼者が選任され、当大阪は、諫山正三(寛10年)氏が指名を受けられ、一年余の準備期間を経て自ら支部長として、連絡者(現事務局長)今井貞一(高商19年)氏らと共に、昭和27年4月に支部の設立届を本部に提出し承認を得て発足に至りました。

宮陵会会報に大阪支部が投稿された記事を目にして発足当初は大変な苦勞をされた様子が読み取れて感慨無量です。

当支部は何分広範囲に渡り同窓生諸兄が散在しているの時期と場所を得て一堂に会す事が誠に困難な業であり、まず為「中略」発刊の一欄を拝借して大阪在住の同窓諸兄に呼掛けこの一欄を読まれた熱意ある諸兄のご尽力を得て早急に大阪支部会を開催致す所存故・・・以下略」連絡者今井貞一(大野屋旅館重役)「注大野屋旅館は当時大阪市南区の文楽座南側に在った由」。

現在の大阪府宮陵会の基礎創りに腐心された諸先輩にあためて感謝と敬意を表したと思います。因みに昭和27年は新制神奈川大学として初めて卒業生を送り出した年であり、第一期生として557名(うち女性9名)が卒業されています(短大生を含む)。

年卒者(63年)106,344名、平成年卒者102,918名です。現状通り推移すれば毎年約4,000名に近い新会員の誕生が見込まれます。宮陵会としては、大変喜ばしい事ではあります。他方問題も山積です。その最たるものが地域組織の会員数が年々減少傾向にあることです。本会にあつても然りです。その主たる要因としては、近年入学者が地元志向になつて居るからと言われます。

が、決してその限りではないと思っております。因みに現在本部に於て掌握している会員(所在確認済総数が約10万名前後といわれています。物故者の員数を考慮しても卒業生総数との落差が大きすぎます。故に本部は勿論のこと、大学当局としても卒業後の会員の動静把握が最重要課題としております。

本会としても潜在(所在未確認)会員の顕在化に対する取組みについては最大の関心事として検討し、具体的に実践すべく宮陵会近畿ブロック会議等を含め本部にも提起している所です。とりわけ大阪をはじめ近

畿圏は西日本にとって最大の経済圏です。依つて経済活動に従事する多くの人々の中に在つては可成りの潜在会員が地区内に居住、滞在されて居ると確信しております。併せて、女性会員の皆様が会の諸活動に参加しやすい環境づくりも喫緊の課題です。故に一日も早く各地域組織と本部そして大学(校友課)と三位一体となり諸施策の推進に取組むべきと考えています。

昭和27年より今日迄一時期は休眠状態に陥る等紆余曲折の経緯があつたとは申せ60余年の歴史を刻んできた大阪府宮陵会です。記念総会を契機として世代を問わず同じ学び舎で時を過ごし、思い出を共有する新しい同窓仲間がこれからも年々歳々連綿として豊かな輪を広げていくことを念じております。そのことが即ち、創立100周年に向けて力強く躍進する母校神奈川大学と一体である証しだからです。皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしております。

大建鍍金工業株式会社

代表取締役専務 松尾 旨之
(昭34・経卒)

〒532-0027 大阪市淀川区田川 2-6-14
TEL(06)6302-1238 FAX(06)6304-8265

一層のファッション志向を高め
コンテンポラリー・ニーズの追求を続ける

辰巳織布株式会社

代表取締役会長 辰巳 美績
(昭19・商卒)

〒596-0827 岸和田市上松町 2 7 3 番地
TEL(0724)27-4801 FAX(0724)27-6263